

【事業所情報】

相談支援事業所名	相談支援事業所つばくろ
相談支援専門員氏名	樋口 祐亮
連絡先	0256-61-6060

【利用者情報】

利用者氏名	A様
生年月日(年齢)	H●●年生まれ
住所	市内在住
利用サービス	就労継続支援B型、共同生活援助
支援が困難な点	めまいや腹痛で体調が悪く、服薬を拒否するため対応が難しい。また、就労継続支援B型に通えていない。

【地域課題の具体的な内容】

①利用者の支援の経過	高等部を卒業後、アパート暮らし。その頃から腹痛やめまいが出てくる。休むことが多かったが送迎にて何とか就労B型に通う。令和5年4月からグループホームに入所する。難病が発症して、体調不良が多くなり、朝から起きられなくなる。食事や服薬を拒否することが増えた。就労B型が訪問し、服薬や通うための声掛けを実施している。相談員が病院に付き添いを実施し、服薬の調整をするも改善せず。現在、精神科に入院となっている。
②利用者の支援上の課題	①GHの本人・家族とのかかわり方 ②日中の過ごし方 ③医療と福祉の連携 ④薬が飲めない。
③②の課題への対応策	・母が受診同行していたが、しっかり伝えられない→GH職員も同行依頼。 ・内服薬の種類の検討 ・訪問看護の導入、それぞれの病院も含めた個別支援会議 ・地活や生活介護の検討 ・アパートに戻りヘルパーの利用を検討。別居の祖父の詳細を探る。
④地域課題・ニーズの現状	①市内にはアパートタイプのGHがない。 ②難病の辛さが分からない。相談先(窓口)があると良い。 ③医療と福祉の連携 ④友達づくり(ピアサポート)外に出なくても友達が作れる環境
⑤地域課題の解決に向けた必要な取組(誰がどのようにしたらいいかを具体的に記載)	①市内の事業所向け説明会を開催→つばめで暮らそう部会で提案 ②県の難病支援センター、保健所→個人で問い合わせ可能 ③各関係機関で共有できるツールがほしい。内服状況を知りたい→個人が各病院のサポートセンターへ問い合わせ ④やすらぎ、はばたき(地活)リモートでも活動できるしくみを検討→やすらぎ、はばたき

R6.7月時点